

平成30年度第1回社会教育委員会議 議事録

- 1 開催日時 平成30年10月11日(木) 18:30～19:55
- 2 開催場所 新居浜市役所庁舎3階 応接会議室
- 3 出席者 ≪委員≫安藤進一委員、小笠原忠彦委員、永井和弘委員、秦榮子委員、日野幸彦委員、藤田誠一委員、藤本毅委員、山内保生委員、渡邊大輔委員 (計9名)
≪市教委≫関教育長、加藤事務局長、高橋課長、上野主幹、高田係長
- 4 欠席者 ≪委員≫加藤すみれ委員、久保弥生委員、篠原雅士委員、三木悠司委員、渡邊郁雄委員、渡邊誠一委員 (計6名)
- 5 教育長挨拶
- 6 自己紹介
各委員(欠席委員は事務局より紹介)、事務局の順に自己紹介
- 7 社会教育委員について
資料に基づき説明
- 8 議長、副議長選出
議長に秦榮子委員、副議長に日野幸彦委員を選出。

9 議事

(1) 諮問

(教育長)

平成が終わろうとしている。昭和の戦後すぐの時点で公民館ができ、その後平成に入り、生涯学習という流れの中で、従来の社会教育から少し違う形に公民館が流れて、その延長線上に公民館は置かれている。

新しい時代がスタートするに当たり、現在文部科学省においても、社会教育、公民館のあり方について議論を進めており、私もその中に加えていただき、議論を行っている。その中で人生100年時代ということがしきりに言われるが、その中でどのように人生を設計していくかということを議論している。本市でも同じような課題をこれから抱えていくと考える。

これからの公民館についても議論していく時期に来ていると感じ、委員の皆様方にこれからの公民館のあり方について、ご助言を賜り、これから先の公民館の施策の中に反省させていきたいとの思いで、今回諮問に至ったところである。

《諮問》

教育委員会から社会教育委員会議へ、今後の公民館のあり方について諮問を行うこととし、教育長が「諮問書」を読み上げ、秦議長へ提出。

(2) 成人式について

《資料に基づき、事務局説明》

(藤田委員)

他市の情報等について何か得ているか。

(事務局)

県の方もまだ把握できていない。今後どのようにするのか、どの市町も協議を進めている状況である。

(日野委員)

全国的な流れはどうか。いつかは3回しないといけない。それをいつするのかということになる。

(事務局)

対象年齢を下げた場合は3回することになる。20歳のままでいくということも残っている。国のホームページも見ているが、今後、各県より情報提供があれば提示するとは書かれているが、現時点では成人式開催に関する調査等もなく、国自体も把握できていない状況である。

(秦議長)

6月に決定されたばかりで、どこか決定されたという情報もまだないという状況とのことである。

(事務局)

情報提供できるものが非常に少ない状況である。もし可能であれば、来年1月の成人式に委員の皆さんに壇上へ上がっていただき、現状の一世代の成人式を見ていただくとともに、今後情報も提供させていただいて、成人式以降に開催の社会教育委員会議において、ご意見をいただききたいと考えている。皆さん、いかがか。

《了承を得る。》

(小笠原委員)

実際に該当する子ども達に意見を聞いてみてはどうか。2022年に新成人になる現在中学2年生や高校生に、成人式が変わるのでということで、意見を聞いてみるのはどうか。それらを基にして話し合う方が、より現実的と思う。高校の校長会の委員もおられるので、その方を通じてでもアンケートを取ってみてはどうか。

(秦議長)

学校等とコミュニケーションを取りながら、良い方向に進めていただきたい。成人式はこう変わるということを、まずは子どもさんたちに理解していただいて、いかに進めるかということが大切になるとのご意見であり、よろしくお願ひしたい。

(藤本委員)

年齢を変更する場合、いかにより多くの方に出席いただくかということが大事になってくる。本市の参加率は県平均を下回っているようであるが、原因分析を行っているのか。

(事務局)

現状分析までは至っていない。時間をいただき、行いたい。

(日野委員)

この参加率は、会場の中に入った人のカウントであるのか。

(事務局)

そうである。本市では送付するハガキにアンケートも付けさせていただいており、期日について、この時期でよいのか、意見も聞かせていただいている。3連休の中日の開催であり、帰ってきやすいというご意見をいただくとともに、時間帯としては女性の着付けの関係もあり、現行の11時受付、11時半開会というご意見が多い状況である。そのハガキで参加者をカウントさせていただいており、基本的には中に入られた方でカウントしている。

(安藤委員)

アンケートを取ることも非常に大切である。ただ、その年代の方は、今までどのような成人式をしているか見たことが無いので、中学校・高校にも協力いただいて、過去の成人式の様子を見ていただき、自分たちはどういうふうな成人式をしたいのかという意見を求める方がよいと思う。ニュース番組では荒れた成人式の様子しか放映されないので、変わった印象を持たれている恐れもある。

(秦議長)

貴重なご意見を十分生かしていただいて、コミュニケーションを取りながら、中・高生等にとっては全く初めての体験なので戸惑わないように、よろしくお願ひしたい。

(3) これからの公民館のあり方について

《資料に基づき、事務局説明》

(日野委員)

社会教育法第20条に公民館の目的とあるが、実際に本市の公民館は、これ以上の事を行っているのではないかと思うが、いかがか。

(事務局)

公民館は地域の皆様の支えの中で、様々な事業をさせていただいているが、そのようにおっしゃっていただければありがたい。これまで以上に、充実した活動、事業展開をできるよう努めてまいりたい。

各地域において地域コミュニティ課所管の交付金事業も行っており、その事務も公民館が一定部分担っていると認識している。地域課題解決に向けた全体的な取り組みになるよう、ご意見をいただければと考えている。

(安藤委員)

教育長の説明の最後で「SDGs」についておっしゃっていたが、生活の基盤、根本から見直さなければならないということで、膨大な範囲となっている。これを公民館でやるとなると、大

変なことになるのではないか。地域課題を絞らないといけなくなるが、公民館のあり方というものも公民館で違うように思う。そのような調査も必要ではないか。

(永井委員)

公民館独自の文化が違う。それぞれの独自性、地域課題も違うので、あまり画一的にあり方を決めてしまうと、しんどいかなと思う。大きな方針は出すが、あとは公民館の独自性にお任せするというか、館長さんを中心に地域が喜んでできるもの、地域が元気になるような方向付けを行ってはどうか。

(渡邊委員)

「SDGs」に関して、当社でも取り組んでおり、企業として参画しているが、非常に幅広い観点から、全てを網羅している内容になっている。そのような中、当社では17のうち何点かに絞ってというような取り組みを行い、更にそこから個人としてはどのような事ができるかということを目標付けて取り組んでいる。

新居浜市が取り組むべき重点があるかと思うので、そのような点を絞っていくのがよいのではないか。全て網羅するという事は、少し広すぎるという所がある。ビジョンがあって、その中で新居浜市が足りない部分を補っていくことが良いと思う。

(秦議長)

それぞれの地域の「らしさ」をいかに重要視して進めていくことが大切であるという指摘をいただいたので、よろしくお願ひしたい。

(秦議長)

本日は長時間にわたり貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

以上をもちまして、平成30年度第1回社会教育委員会議を終らせていただきますが、欠席者への連絡は事務局よりお願いします。第2回の会議につきましては、私が事務局と協議し、日程が決まり次第皆様にお知らせしたいと存じます。

本日はお疲れのところ、熱心に協議いただき、実りある会となりました。本当にご協力ありがとうございました。